

平成 26 年度 NPO 法人鹿児島技術士の会 講演会報告

開催日時：平成 26 年 9 月 13 日(土) 14:00～16:00

会場：鹿児島市勤労者交流センター(よかセンター)

演題：「地域密着した資源循環型下水処理のあゆみ」

講師：山口 徳雄 (やまぐち とくお) 氏 (下水バイオマス調整官

佐賀市水道局上下水道局下水浄化センター前センター長)

講師の山口徳雄先生には、佐賀市下水バイオマス調整官という職務でご多忙の中、講演の時間を作っていただき、これまで廃棄物として処理されてきた下水汚泥をエネルギー化、資源化することで全国的に注目を集めている佐賀市の上下水道局・下水浄化センターの取り組みを紹介して頂きました。

従来は廃棄物とされてきたものを利用して、良質の堆肥として再資源化し、消化ガスで発電を行なうという仕組みは、環境の世紀といわれる 21 世紀において持続可能な成長を実現させるひとつのモデルケースとして、大変興味深いものがありました。

また、生産される堆肥を通じた、近隣住民をはじめとする市民や農家との交流がもたれていることや、処理場の運転条件を季節により変更して有明海のノリ養殖に貢献していることなどのソフト面での取り組みについても、「技術」の今後あるべき姿を示唆しているように思われ、大変勉強になりました。

環境問題の克服が現代社会の大きな課題となるいま、自然と折り合いをつけながら持続的成長をなしてきた伝統技術に学び、将来につなげていくというような「凹型」への発想の転換が重要という先生の講演は、大変勉強になりました。

当会が受け付けた参加者は 19 人でしたが、一般(非会員)も 9 名あり、先生のお話を熱心に聞き入っていました。講演後には活発な質疑応答や意見交換も行なわれました。

会場の雰囲気先生のお話にも熱がこもる



熱心に聞き入る参加者

